

# ぜつ き 絶めつが危ぐされるメダカ

メダカ（ミナミメダカ）は身近な環境<sup>かんきょう</sup>に生息している生き物ですが、現在では絶めつが危ぐ<sup>げんざい ぜつ き</sup>されています。なぜでしょうか。

絶めつ<sup>ぜつ</sup>の原因は、都市開発による河川工事<sup>か せん</sup>によりメダカに適した生息地<sup>てき</sup>が失われてしまったこと、外来種<sup>がいらいしゆ</sup>の生き物によりほ食<sup>ほく</sup>されてしまったことなどがあげられます。

また、観賞用<sup>かんしょう</sup>に流通しているヒメダカなどが放流<sup>はうりゅう</sup>されたことによって、在来<sup>ざいらい</sup>のメダカと交雑<sup>こうざつ</sup>が進み、純<sup>じゆん</sup>すいな在来<sup>ざいらい</sup>のメダカが減少<sup>げんしょう</sup>している地域<sup>ち いき</sup>もあります。

ざいらい  
在来のメダカ



ミナミメダカ

(写真提供：環境省)

かんしょう  
観賞用のメダカ



ヒメダカ

○ ざいらい ぜつ ふせ 在来のメダカの絶めつを防ぐために、私たちにできることは何だろう。

# 外来のタンポポと在来<sup>ざいらい</sup>のタンポポ

身近な花のタンポポですが、タンポポにも外来と在来<sup>ざいらい</sup>があり、外来のタンポポは増加<sup>ぞうか</sup>し、在来<sup>ざいらい</sup>のタンポポは減少<sup>げんしょう</sup>しています。なぜでしょうか。その主な原因<sup>げんいん</sup>は「都市化」です。

外来のタンポポはコンクリートやビルが建つ場所でも生育することができましたが、在来<sup>ざいらい</sup>のタンポポはそのような場所で生育することができませんでした。その結果、外来のタンポポは増加<sup>ぞうか</sup>し、在来<sup>ざいらい</sup>のタンポポは減少<sup>げんしょう</sup>していったのです。最近では、外来と在来<sup>ざいらい</sup>の雑種<sup>ざっしゅ</sup>が増えているという調査結果<sup>ちようさ</sup>もあります。



在来<sup>ざいらい</sup>のタンポポ（カントウタンポポ）（町田市）



外来のタンポポ  
（セイヨウタンポポ）

# 環境に影響をおよぼす特定外来生物

外来種の中でも、特に他の生き物や環境への影響が大きい生物を「特定外来生物」と指定しています。法律で飼育や輸入が禁止されています。

## ○メダカによく似たカダヤシ

メダカによく似ているカダヤシは、「蚊絶やし」が名前のもとになっています。蚊の幼虫であるボウフラをよく食べるため、蚊のくす目的で日本に持ちこまれました。

しかし、他の生き物への影響が大きく、今では特定外来生物に指定されています。



カダヤシ

(写真提供：環境省)

## ○その他の特定外来生物（一部）



ナガエツルノゲイトウ

左写真：戸田光彦 / (一財) 自然環境研究センター



オオキンケイギク

右写真4点：環境省ホームページ (<https://www.env.go.jp/nature/intro/4document/asimg.html>)



ボタンウキクサ



アライグマ



カミツキガメ

○特定外来生物は、他の生き物や環境にどんな影響をあたえているだろう。



# ☆もっと調べてみよう☆



かんきょう  
○国立環境研究所「しんにゆう侵入生物データベース」

◁ここをクリック

かんきょうしょう  
○環境省のホームページ「たいさく日本の外来種対策」

◁ここをクリック

と かんきょうきょく  
○東京都環境局のホームページ ◁ここをクリック

き けん 「気をつけて！せいぶつ危険な外来生物がくしゅう（こども学習サイト）」

## ◇考えてみよう

○特定外来生物による<sup>がい</sup>ひ<sup>ふせ</sup>害を防ぐための取組について考えてみよう。

○持続<sup>か</sup>可能<sup>のう</sup>な街づくりのために、できることや守らなくてはならないことを考えて発表しよう。

